

田尻だより

平成 22 年
4月 号
Vol. 85

次の田尻便りは
5月1日発行予定です

お葬式と法事が続き、
梅、桃、桜の咲き乱れる
和歌山へ帰省しました。



高橋家は5人姉弟ばかりで、
こうやって姉弟全員をろうことは
大変珍しいことです。

4月を迎え、田尻だ
よりは8年目に突入し
ました。発行が遅れた
り出産で休刊したりし
ながらも続けて来れま
したのは、ひとえに皆
様のお陰でございませ
す。田尻はこれから種ま
きが始まります。皆様
のご支援に感謝しなが
ら、今年のお米作りに
努めてまいります。

〔嫁の仕事?〕

平成14年の4月にお
嫁に来て、もうすぐ9
年目の春を迎えます。
その間、私の仕事はか
なり様変わりしました。
時代の流れも又、急速
に変化していきました。
最初の年は農作業を
主としながら販売に携
わり、このままでは駄
目になると痛感しまし
た。生産と消費の現場
の気持ちバラバラで、
自分達の都合を相手に
求め合っていたのです。

特に幼児が8人もいるので
全く收拾がつかず、「写系に困
まれた写真を撮りたい」という
母の要望にも四苦八苦。



常に保育所状態の「にぎ
やかなお葬式と法事」でした。

無農薬でも品質の高
い米がほしい。けれど
もこんな苦労がある。
そのすり合わせとして、
田尻だよりが始まりま
した。次に取引先に理
解を求めつつ雁音農産
の改革を進め、最後に
農家への徹底した指導
啓発にあたりました。
今は地元の団体や教
育機関と連携し、農業
と食育の振興に努めて
います。農家の嫁は、
今日もどこかで暗躍し
ているのです(笑)。

米 曆 ~こめごよみ~

3月6日 取組農家の全体協議
会を行いました。
13日・14日 塩水選・温湯消毒
15日~ 浸種開始
2日、5日、9日、12日、16日、23日、
26日、30日 米検査をしました。

塩水選とは種もみを食塩水に浸し、沈むくら
い充実したもみを選抜する作業です。その後
65℃のお湯に5分間種もみを浸し、病原菌を
除きます。現在、種もみは冷水に浸され(浸
種)、静かに種まきの日を待っています。

嫁日記

実家で不幸があり、久しぶ
りに和歌山に帰ることにな
りました。ここ数年は本当
に忙しくて、このような機
会(お葬式など)でしか実家に
帰ることができません…。

実家では弟のお嫁さんが6
月に出産を控えていて、と
ても和やかな雰囲気でした。

普段であれば、私達嫁に出
た姉妹4人が実家に集まる
とそれだけで場の空気を独
占してしまうのですが、お
腹の大きなお嫁さんを中心
に自然とできた輪が、とて
も優しい空気を作るのです。

すっかり弟夫婦の家になっ
たのだなあという実感と、
「子ども」の存在の大きさを、
しみじみと感じたのでした。